

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【369】
2. 日時：令和5年1月23日 13時30分～17時25分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他18名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針、可搬型重大事故等対処設備の設計方針、弁の動的機能維持評価について等）について、令和5年1月17日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【サプレッションチェンバ接続配管に適用する設計用地震力に関する補足説明資料】

○ サプレッションチェンバ接続配管について、サプレッションチェンバが柔構造であることによる接続部の応答に対する影響を説明すること。

【弁の動的機能維持評価について】

○ 主蒸気逃がし安全弁の加振試験について、安全弁機能の維持の考え方を、吹き出し圧力の判定基準を踏まえて説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
提出資料：
なし